

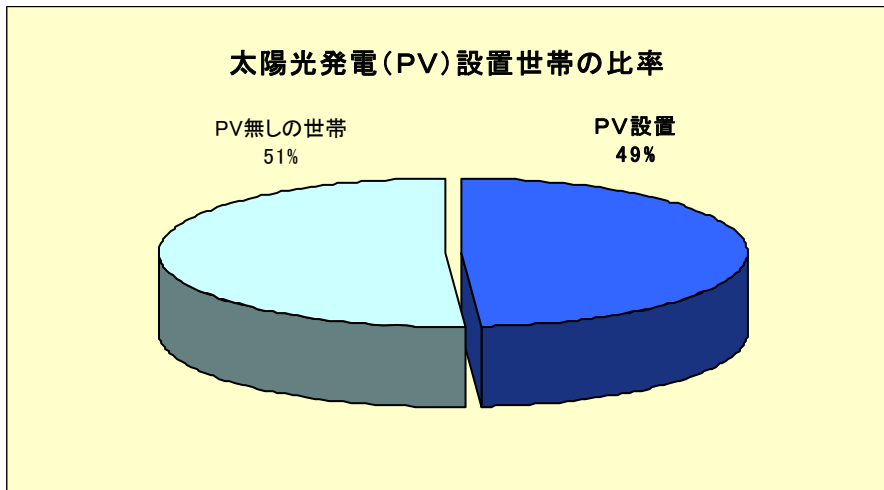
マイレージクラブ通信も最終回となりました。拙い文章に最後までお付き合いいただきましてありがとうございます。

梅の花も咲き、小鳥も忙しく飛びまわりはじめました。2月の初め久々に山に登り、朝テントの中から外を見ると一面の銀世界、雪をかぶった木々、後ろには紺碧の空、まさに自然が作り出した芸術を思わせる景色にであいました。

このように、一夜にして山全体の風景を変貌させる自然の偉大さは、近年エネルギー問題の壁に突き当たっている人類に何らかのヒントを与えているのではないのでしょうか。

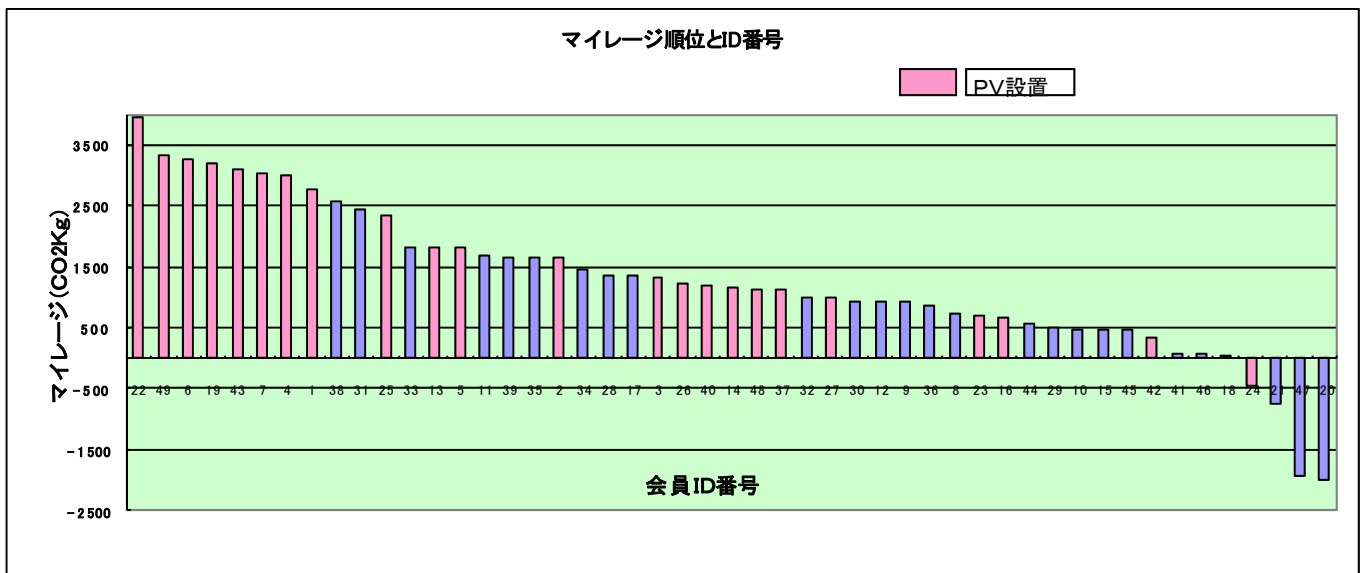
1、平成20年度うべソーラー・マイレージクラブ事業の結果概要をお知らせします。

(1) 会員49世帯の中で太陽光発電 (PV) 設置世帯は24世帯で49%を占めていました。



(2) ソーラー・マイレージ (二酸化炭素排出削減量) 順位

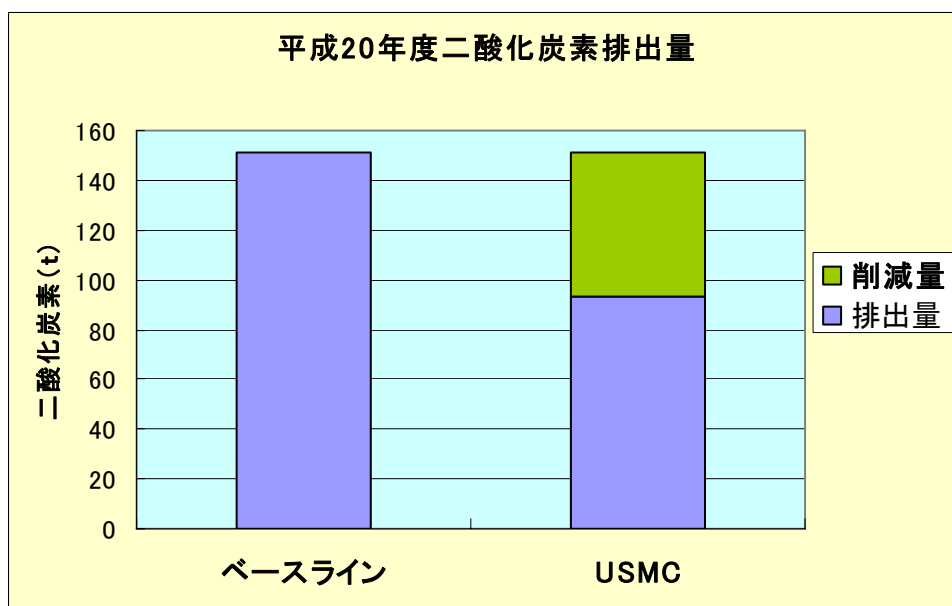
平成20年4月～平成21年1月までのソーラー・マイレージを多い順に以下に示します。太陽光発電 (PV) 設置世帯が上位を占めており PV 設備の二酸化炭素削減効果を再確認しました。



(3) USMCの総二酸化炭素排出量及び削減量（平成20年4月～平成21年1月）

会員49世帯（世帯人員数183名）の総二酸化炭素排出量とベースラインCO<sub>2</sub>排出量\*の比較を以下に示します。これによるとUSMCでは151t-92t=59tの排出削減量となっています。

※ベースラインCO<sub>2</sub>排出量＝（中国地域の世帯1人当たりの平均的CO<sub>2</sub>排出量）×188



2、太陽光発電所設置者へのアンケート調査結果

平成20年12月に太陽光発電所設置者24名にアンケートを実施し13名の回答をいただきました。

(1) 平均発電容量（定格）：4.07KW

(2) 平均発電量：264 KWh/月

(3) 太陽光発電設備を設置して良かった理由

- ・環境負荷の軽減
- ・省エネ意識の向上
- ・経済的メリットがあった
- ・メンテナンスが不要である

(4) 太陽光発電設備設置の設置検討者への助言

- ・日照条件の確認
- ・助成金の活用
- ・経済的メリットの確認
- ・設備による発電効率の比較

3、会員会議（3月1日）の概要について、お知らせいたします。

(1) 日時：平成21年3月1日（日）13:30~15:00

(2) 場所：福祉会館 2階

(3) 参加者：20名（会員 17、事務局 3）

(4) 会議内容

1) 代表挨拶 宇部地球温暖化対策ネットワーク代表 中西 弘

今年度は平成20年6月から今日までうべソーラー・マイレージ事業として、いろいろな活動を実施してきた。しかし、太陽光発電設備の普及が、今ひとつ盛り上がりなかったのは補助金制度の確定がなされなかったことだと思う。

これから、各省庁も二酸化炭素削減に向けた活動が活発化するため、太陽光発電の普及に期待が持てるものと思われる。



## 2) グリーン電力売買の仕組みについて

宇部市地球温暖化対策ネットワーク事務局長 仰木 則康

グリーン電力とは化石燃料、原子力発電を除く自然エネルギーからの電力で風力、太陽光、バイオマス、地熱等がある。

これらから発電された電力は、エネルギーとしての価値と環境価値を併せ持っており環境価値の部分を取り出して売買することができる。

一般的な家庭での太陽光発電設置者はPVネットによると、年間1万円程度のグリーン電力を販売することが可能である。

3月29日に開催される宇部マテ ECOCONCERT'09では宇部で初の山口県産太陽光発電からのグリーン電力証書を利用したコンサートである。



## 3) USMC事業及び全国地域協議会の集計結果報告

USMC事務局 清水 幹生

USMC事業は平成20年6月にスタートし平成21年1月までに61,731Kgの二酸化炭素を削減しており削減目標値である22,529Kgを既に上回っている。会員の最大削減量は3,956Kg、最小は2,016Kgの増加となっている。

全会員の90%が二酸化炭素の削減に協力している。しかし、今年度の冬(11~1月)は72%と低い値を示している。これは冬の気温の低かったことを表している。



## 4) うべソーラー・マイレージクラブ会員による省エネ報告

### a) 刈谷 丈治



- ・USMCに参加したのは二酸化炭素削減量を数値化できるため。
- ・冷房が嫌いで夏向きに家を建てたため、冬は寒く問題を残している。
- ・省エネ対策として太陽熱温水器、壁の断熱等を実施している。
- ・車には全く乗らないことにしている。



b) 松重 泰夫



- ・太陽光発電設備は、当時販売所に関係していた事、油及び電気の値上がり、環境への貢献を理由に設置した。
- ・省エネ対策として壁の断熱、ペアガラス、断熱塗装、トイレ等に自動スイッチ設置、家電は節電タイプに更新。
- ・太陽光発電設備、売電契約書及び中電の受検証等の紹介があった。

c) 原野 英雄



省エネ設備として太陽光発電設備（H10年設置 3.48KW）、太陽熱温水器、井戸水の利用、外壁の断熱、ペアガラス、屋根の明り取り、GEOシステム（地中熱利用換気）、TSS 污水处理システム（無放流方式污水处理）と多くの設備の紹介があった。

結論として何らかの経済的メリットがなければ長期の活動は望めない。

5) 全体懇談会及び質疑応答

- グリーン電力証書の有効期間は？ （回答）年単位
- グリーン電力証書の取り扱いをUNCCAで対応しては？  
（回答）現在検討中
- 11月～1月のマイレージが低い原因？  
（回答）暖房に灯油を使用した。（灯油の二酸化炭素換算値は 2.489Kg/l）



6) 閉会挨拶

宇部市地球温暖化対策ネットワーク事務局長

仰木 則康

今日までのデータ報告に対するお礼と引き続き3月までのデータについての報告をお願いして閉会となった。

(参加会員の記念撮影)



#### 4、ソーラー・マイレージクラブ全国大会の報告

開催日：2009年3月7日（土）

場 所：東京都 建築家会館

##### 概 要

環境省 室石泰弘調整官の挨拶の後、環境省地球環境局小林 光政策局長の基調講演が行われた。

引き続きソーラー・マイレージクラブの取り組みについて「ありんこ省エネ村（事業実施箇所：愛知県、岐阜県、長野県）」、「東京地域地球温暖化防止倶楽部（同：東京都）」、「NPO法人太陽光発電所ネットワーク関西地域交流会（同：関西一円（大阪、兵庫、京都、奈良、滋賀、和歌山）」、「NPO法人太陽光発電所ネットワーク佐賀地域交流会（同：佐賀県）」、「宇部市地球温暖化対策ネットワーク（同：山口県宇部全域）」の5地域協議会によるパネルディスカッションが行われた。

省エネ事例発表では、うべソーラー・マイレージクラブの溝田忠人さんが省エネ体験を発表された。

ソーラー・マイレージ Top10 は本クラブ活動に熱心な方を顕彰し、さらにやる気を持ってクラブ活動に参加していただくため、H20年4月～H21年2月の期間における各会員のマイレージ量をランキングし、そのうち上位10名の方を「ソーラー・マイレージ Top10」として顕彰する。

うべソーラー・マイレージクラブより境 征紀、伊藤善康及び本田道子さんが入賞された。また、太陽光発電非設置者の世帯別部門で岸田智子、村田寛利さん並びに、1人当たり部門で眞海綾子、沖田 功さんが、それぞれ入賞された。

発 行：宇部市地球温暖化対策ネットワーク  
うべソーラー・マイレージクラブ  
〒755-0032 山口県宇部市寿町2丁目18番11号  
TEL&FAX:050-1298-4065  
E-MAIL:usmchome01@ybb.ne.jp  
usmchome02@ybb.ne.jp  
URL:http://ubeondanka.net

編集担当：舛田相談員・清水相談員

